

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	産科大量出血におけるクリオプレシピテートの使用経験から見えた産科大量出血の特徴と輸血戦略
研究責任者	川島信吾
研究機関名	浜松医科大学
研究目的と意義	産科出血時に使用を考慮される凝固因子補充製剤としては、新鮮凍結血漿、クリオプレシピテート製剤、乾燥人フィブリノーゲン製剤、遺伝子組み換え活性型第7因子製剤がありますが、どの製剤をいつどのように使用するのかなどは、まだはっきりとわかっていません。そこで当院の産科大量出血でのクリオ製剤の使用状況、フィブリノーゲン値上昇効果、改善点を明らかにすることを目的として調査します。
研究期間	西暦 2016 年 5 月 (倫理委員会承認後) ~2018 年 3 月
研究方法	<p>●対象となる患者さん：西暦 2010 年 1 月～2016 年 3 月までの間に産科大量出血患者でクリオプレシピテートを投与した患者</p> <p>●研究に使用する試料：</p> <p>(1) カルテから血液検査データ (2) 身長体重、合併症 (3) 輸血量、出血量 (4) 手術時間、麻酔時間 (5) ICU入室後の記録</p> <p>●研究方法 上記の記録から当院の産科大量出血でのクリオ製剤の使用状況、フィブリノーゲン値上昇効果を調査し、改善点や使用戦略を明らかにする</p>
問い合わせ先	〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：麻酔蘇生科 担当者：川島信吾 TEL： 053-435-2918 FAX： E-mail：